

“ちいさな企業” 発展会議（大阪府門真市）
議事概要

中小企業庁

- ・ 日時：平成27年3月4日（水）14：00～16：15
- ・ 場所：大阪府門真市（門真市民文化会館ルミエールホール）
- ・ 中小企業・小規模事業者、支援機関、地方自治体の取組を御紹介いただくとともに、意見交換を行った。
- ・ 参加者からの主な御意見は以下のとおり。

＜中小企業・小規模事業者＞

- 小規模企業であるため、国の補助金を活用できるとも思っていなかったが、門真市からいろいろな施策を紹介していただき、それを活用して新事業を行っており、すべてにおいてプラスに向かっている。
- 国の補助金は申請期間が短い。また、敷居が高いと感じている事業者も多い。
- 申請書を原則3枚としていただいているが、3枚でも大変と思っている事業者も多い。そのため、商工会で補助金の勉強会を行う予定である。
- ミラサポは使いにくいと感じる。高齢者はパソコンを使えない人も多い。登録をサポートする仕組みを検討していただけないか。
- 世の中を変えるようなイノベーションの取組ではなく、生産プロセスの革新の支援も対象となっていたため、ものづくり補助金はありがたかった。
- 持続化補助金を活用しようと思ったが、事業計画を策定する必要があった。最初の申請の際に、1枚程度の最低限の内容で一次審査していただき、それが通ったら、詳細の申請書を書いて二次審査するような手続きは取れないものか。
- 円安による原材料の高騰に悩んでいる。また、中国メーカーも製造機械を更新しており、製品の品質が良くなっているため、危機感を覚えている。
- 社内の人材育成に課題を抱えているが、中小企業だとなかなか人材育成にお金

をかけられない。

- 事業承継の際の自社株対策に悩んでいる。利益を出せば出すほど、自社株が上がっていくため、事業承継の足かせになっている気がする。
- 販売の比率が国内9割。現在、ベトナムに進出しているが、海外の比率を増やしていきたい。一方、海外展開の際の知財問題に悩まされている。
- 世界に通用する製品を作ろうと挑戦していたが、ようやく製品化にたどりついた。その中で感じたことは、国の支援は研究開発を対象とするものが多く、製品化する際の支援があまりないということ。また、製品化するための人材育成も必要であるため、人材育成の支援も必要と思う。
- 商店街支援について、個店が事業を継続できるようにする支援を検討していただきたい。

<支援機関・自治体>

- 協調融資を積極的に実施しており、創業者の資金調達をしっかりと行えるようにサポートしている。また、創業後のフォローアップのため、創業者への訪問を実施している。
- 最近では、初めての海外進出を検討している事業者が増えている。
- 支援機関同士の連携をもっと積極的に進めていきたいと思っている。
- 地方行政の役割として、国の施策をしっかりと企業に伝えていきたい。



以上